

外国人の子どもの保育

— 愛知県のX保育園の観察を中心として —

中川美子

はじめに

筆者らは1994年から1996年にかけて、愛知県内の保育所における外国人児童の親や保育者等からの聞き取り調査を行い、国際化社会にふさわしい保育のあり方として、①文化の違いから生ずる疑問への丁寧な対応、②親の意見や要望、不安などが出せる雰囲気・条件づくり、③母国語や母国の文化の保持等を提言した¹⁾。

一方、我が国における外国人登録者数は、経済状況が厳しくなった現在でも増加を続けており、国別ではブラジル人の増加が著しく、ブラジル籍の人は1998年末で、222,217人登録しているが、全国でその数が一番多いのが愛知県で40,873人、次いで、静岡県²⁾の31,329人となっている(資料1)。

愛知県(名古屋市を除く)における外国人の保育所入所児数は、年々増加傾向を示し、ブラジル、中国、ペルー、フィリピンの子どもが増加しており、1999年4月現在のブラジル人の入所児数は990人である(表1)。一方、名古屋市においては、中国人の入所児が一番多く、次いでブラジル、韓国の順になっており、1999年4月現在の中国人とブラジル人の入所児数は、それぞれ176人、106人である(表2)。

今回、筆者はブラジル人の子どもを多数受け入れている愛知県内のX保育

表1 愛知県における外国人の子どもの保育所入所状況

国別入所児数

年月日	ブラジル	韓国・朝鮮	中国	ペルー	フィリピン	その他	合計
1995.4.1	571	148	74	54	9	41	897
1996.4.1	583	149	85	83	15	53	968
1997.4.1	738	161	85	87	14	54	1,139
1998.4.1	936	155	112	141	32	58	1,434
1999.4.1	990	153	122	159	30	68	1,522

註) 名古屋市の入所児数を除外した数値。

表2 名古屋市における外国人の子どもの保育所入所状況

国別入所児数

年月日	1	2	3	4	5	その他	合計
1991.4.1	中国 65	ブラジル 27	フィリピン 17	韓国 14	アメリカ 11	36	170
1992.4.1	ブラジル 79	中国 74	フィリピン 18	アメリカ 12	韓国 8	55	246
1993.4.1	中国 111	ブラジル 103	フィリピン 22	ペルー 13	インドネシア・アメリカ各11	70	341
1994.4.1	中国 134	ブラジル 76	フィリピン 38	ペルー 14	アメリカ 13	74	349
1995.4.1	中国 155	ブラジル 64	韓国 18	フィリピン 12	アメリカ・ペルー各11	75	346
1996.4.1	中国 131	ブラジル 78	アメリカ 17	韓国 13	フィリピン 12	96	347
1997.4.1	中国 127	ブラジル 84	フィリピン 29	韓国 19	アメリカ 18	89	366
1998.4.1	中国 173	ブラジル 108	フィリピン 32	韓国 32	アメリカ 14	84	443
1999.4.1	中国 176	ブラジル 106	韓国 31	フィリピン 19	ペルー 16	94	442

園を継続的に観察する機会を得たので、言語や習慣の違いを現場がどのように工夫しながら克服しているのか、また具体的にどのような問題があるのかを検討し、今後の保育や学生への教育の課題としたい。X保育園については子どもや子どもの親に関するプライバシーの保護のためにその所在を特定することは避ける。

なお、外国人の子どもの保育については大場らの著書^{3)~6)}などがある。

I X保育園における観察

X保育園には、表3にあるように1990年に中国人の子どもを1名受け入れて以来毎年外国人の子どもが入所し、1996年以降はその数の増加が著しく、最近では約20名の外国籍の子どもが入所している(定員90名)。そして大多数が日系ブラジル人の子どもである。筆者が最初に訪れたのは日系ブラジル人の子どもが多数入所した1996年の年末であった。以下1999年10月までのX保育園における観察記録を記す。

1996年12月10日(火) 園長と外国人対応嘱託員(嘱託員と略す)へのインタビュー:外国人の子どもを受け入れてとまどうこと……食事や時間……

筆者 外国人の保育でむずかしいことはどのようなことですか。

園長 来日するということは、子どもにとっては大変なことです。一番困っていることは食事で、(ブラジル人の)子どもにはみそ、しょうゆが受け入れられな

いのです。給食しかないので、パンとマーガリンだけですませます。牛乳も砂糖がたっぷり入った牛乳しか飲まないで、保母(保育士)としては抵抗があります。見た目やおいでいやりがります。ブラジルの料理はフェジョンといって、水煮の豆に塩味をつけたものがあり、バターライスにフェジョンをかけ、肉もかけて混ぜて食べます。着替えや休日の連絡、祝日の説明などで園としては振り回されている感じです。言葉のことだけなら、子どもは3か月すれば仲間になれます。嘱託員 子どもは、「だめ」、「これ」、「ちょっと」などの日本語をまず覚えます。「ありがとう」、「ごめんなさい」は保母(保育士)が教えます。

園長 親との連絡がうまくいきません。また(ブラジルと日本は気候が異なるので)少し涼しくなるとものごく厚着になります。今までの薄着の習慣がくずれてしまった感じになり困ります。持ち物については絵で示します。絵本を読んでいる時や、お話しの時間は(ブラジル人の子どもは)意味がわからないのでおもしろくありません。時間にはおおらかで、入園式に間に合わなかった子もいました。親との関わりでは相手を理解しようとする気持ちが大切ですね。障害児保育と取り組んできましたから、考え方としては外国人の子どもの保育も同じです。

コメント(筆者のコメント):この時期はちょうど語学対応嘱託員が1名派遣されており(1996年8月-1997年3月)、親への連絡文の作成や子どもの話し相手など

表3 X保育園における外国人の子どもの入所状況

年月日	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1990.4.1				1(中国)			1
1991.4.1		1(ブラジル)	1(ブラジル)		1(ブラジル)		3
1992.4.1			1(ブラジル)	1(ブラジル)		1(ブラジル)	3
1993.4.1	1(ブラジル)			1(ブラジル) 1(中国)	2(ブラジル)		5
1994.4.1		1(ブラジル)	1(ブラジル)	2(ブラジル) 1(ザイール)	1(ブラジル)	2(ブラジル)	8
1995.4.1		1(ブラジル)	1(ブラジル)	3(ブラジル)	2(ブラジル) 1(ザイール)	2(ブラジル)	11
1996.4.1	1(中国)	3(ブラジル)	3(ブラジル)	4(ブラジル) 1(ザイール)	5(ブラジル)	2(ブラジル)	20
1997.4.1		2(ブラジル)	5(ブラジル) 1(朝鮮)	3(ブラジル)	4(ブラジル)	2(ブラジル)	17
1998.4.1	2(ブラジル)	2(ブラジル)	4(ブラジル)	5(ブラジル) 1(朝鮮)	2(ブラジル)	6(ブラジル)	21
1999.4.1		4(ブラジル)	4(ブラジル)	6(ブラジル)	3(ブラジル) 1(ブラジル)	2(ブラジル) 1(中国)	23

ブラジル人の子どもの保育に大切な存在であった。園長からは、食事の問題や厚着のこと、親は残業が多く連絡がうまくいかないなど、以後もずっと保育の中心課題となることが語られた。

[1] 1997年5月7日(火) 観察……1997年度の外国人の子ども……

現在全園児数は74名でその内ブラジル人が16名(R8児を除くM1児からT17児までの園児)、朝鮮人が1名である。M1、G2、T5、M6、B7、K9の各児が新入園児である。

1歳児クラス

- M1 (男) 父はブラジル人、母は日系ブラジル人(以下日系人と略す)であるが日本語が話せない。
G2 (女) 父はブラジル人で、母は日系人であるが父母共に日本語は話せない。1997年9月に他園へ転園した。

2歳児クラス

- F3 (女) 父はブラジル人、母は日系人で父母共に片言の日本語が話せる。
M4 (女) 1995年1月他園から転園。父母共に日系人で父は日本語が話せる。1998年1月末母の出産のため退所した。
T5 (女) 父は日系人で片言の日本語が話せる。母はブラジル人。1997年12月に退所して帰国した。
M6 (男) 今年4月に他園から転園した。父は日系人、母はブラジル人であるが、父母共に日本語は話せない。
B7 (男) 1997年3月来日。父母共に日本語が話せる。
R8 (女) 朝鮮籍。父母共に日本で生まれた。2歳の時から入所している。

3歳児クラス

- K9 (女) 父はペルー人で、母が日系人。父母共に日本語はほとんど話せない。
N10 (女) 父は日系人で日本語が話せるが、母はブラジル人で日本語は話せない。
R11 (男) 2歳児の時他の園から転園してきた。日本語を上手に話す。8月16日に他園へ転園した。

4歳児クラス

- K12 (男) 1996年6月来日し、同年7月から入所。父母共に日系人で片言の日本語が話せる。家ではバターライスでなく、(日本式の)白いごはんを食べている。
T13 (女) 1993年4月来日。父母共に日系人で片言

の日本語が話せる。1998年1月13日退所して帰国した。

T14 (女) 他園から転園してきた。給食になじめないので苦労している。

K15 (女) 父は日系人で片言の日本語を話す、母はブラジル人で日本語を話せない。宗教上のことで豚肉を食べない。弁当を持参する。欠席が多い。

5歳児クラス

R16 (男) 父が先に来日し、本児は1995年9月に母と共に来日した。1995年11月から入所。父が日系人で日本語が話せる。母はブラジル人。N10児の兄。

T17 (女) 父は日系人で片言の日本語を話す、母はブラジル人で日本語を話せない。家族で日本になじもうとしている。本年12月にブラジルへ帰国する予定。

コメント：父母のいずれかが日系人である場合が多く、父母の日本語能力は日系人でも片言が話せる程度の人が多い。母が日本語を理解できない子どもや保育ママ(子どもの世話をしているが、資格は持っていない)が送迎をしている子どもは親と保育士とのコミュニケーションがとりにくい。入所、退所が親の就業の時期と関連し、特に入所の際にはその都度園長や担任は、申請書の書き方の説明、持ち物の説明、送迎の打ち合わせ、祭日の説明などをしなければならない。今日は2歳児クラスを観察した。F3児が親しく筆者に話しかけてきて、お母さんが赤ちゃんを産むことを話した。彼女は小さいピアスをし、マニキュアもしている。

園長の話：1歳児は日本食も抵抗なく食べ、口に入れてから(食べ物を)出すようなことはありません。食欲がない場合は、保育園になじめないという不安のためと思われます。2歳児になると新しく入所した子は食べない子が目立ちます。しかし入所して2年目の子は(給食を)食べるようになってきます。2歳児クラスのF3児、M4児、M6児は給食を食べますが、T5児やB7児はおかずが食べられません。

[2] 1997年5月26日(月) 観察……2歳児クラスのF3児を中心に……

第1回目と同じく2歳児クラスの保育(午前)と給食時の様子を観察した。

保育の様子：園庭の砂場で砂遊び。F3児、M4児、T5児も保育士と砂遊びをしている。B7児はよく泣いてみんなと遊べないので、保育士がついてすべり台で遊んでいる。

給食時の様子：献立は大根とゆで卵と半ぺんの関東煮、納豆・レタスとコーンのサラダ、ジャムを塗った食パン、お茶、ヨーグルト。F3児とT5児は順調に食べているが、B7児はなかなか食べられないので、担任が「B7ちゃん、卵食べた？」と声をかけても横を向いて泣き出した。T5児は最近、園に徐々になじんできている。隣の席のM4児がB7児の背中をさすっている。彼が食べたのは食パンのみであった。F3児が保育士に（日本語で）「せんせい、これな～に？」保育士「半ぺんよ、F3も納豆好き？」F3児「F3もすき」。M4児が納豆・サラダを全部食べてしまい、食器を差し出す。F3児は「M4（愛称で）、もうおしまい？Kちゃん（日本人）、おちゃ」と隣の席の子どもの様子にも気を配っている。

コメント：F3児は、会話も多く積極的である。M4児やK児の食事の様子もよく見ていて「おしまい？」と聞いたり、お茶を飲むように促している。

[3] 1997年6月18日（金） 観察……2歳児クラス……

引き続き2歳児の給食時の様子と給食が終わってからの子ども達の様子を観察した。今日の献立は、揚げじゃがいもの野菜あんかけ（豚肉、あさつき、しょうが、じゃがいも、にんじん、ピーマン）、ジャムを塗った食パン、ヨーグルト、お茶。「パンとおかずはかわりばんこに、モグモグ、ゴクンと食べようね。」という担任の指導で食べている。F3児とM6児は全部食べ終え、ごっこ遊びを始めた。F3児が筆者のノートや鉛筆に興味を示し、「これ、せんせいの？」と聞いてくる。それからF3児はお人形を寝かせている。お人形が目を閉じているので、「ねんねしている」。M6児やR8児は、日本人のK児、M児、S児とお店やさんごっこ遊びをしている。

コメント：2歳児クラスは外国人の子が多い。給食がなかなか食べられなかったB7児は5月末ケガをして休んでいる。クラスの運営は割合順調にしているようである。

1997年8月16日 R11児が他園へ転園した。

[4] 1997年9月11日（木） 観察……2歳児のB7児を中心に……

A18児（4歳児）が8月から入所した。

A18（男）ブラジル人。父は日系人で日本語がすこし話せる。母はブラジル人。

園の行事について：7月4日（金）に夏祭りがあり、夜店、盆踊り、花火、劇、太鼓などを父兄と共に楽しんだ。ブラジル人が多いのでサンバもプログラムに取り入れられ好評であった（園長の話より）。

今日は運動会が近づいているので、各クラスの担任が運動会の種目を何にしようかと子どもにいろいろな遊びをやらせている様子を観察した。5歳児は、鉄棒の前回りとさか上がりの練習と竹馬に乗る練習をしている。リレーのバトンタッチの練習もしている。4歳児は保育室でロックン・アラビア体操の練習をしている。新入子どものA18児も一緒に練習していたが、途中で（日本人の子どもに）首の回りをひっかかれ泣き出した。曲が終わってからひっかいた子どもに保育士が「謝りなさい。」と諭し、A18児には薬を塗っている。彼は今日の給食は1/3位を残した。給食の献立は、豚肉・しいたけ・ピーマンのホイル焼き、ツナ缶・じゃがいも・キャベツ・にんじん・チンゲンサイ・たまねぎ・たまごのケチャップ炒め、なし（果物）、ジャムを塗った食パン、お茶。

今日のB7児：彼はケガもよくなり、7月中頃から登園している。言葉はあまり話さないが、最近指さしをするようになった。給食時もおかずを指さしているので、保育士がその都度ゆっくりした発音で教えている。保育室の壁に張ってあるうさぎやぞうの絵もさかんに指さしている。今日の給食は全部食べた。彼はもう泣かないで、笑顔である。担任の話では、「ぞう」、「しっこ」、「しい（おいしいの意味）」、「よいしょ（パンツをあげる時）」等の日本語を覚えたということであった。

コメント：なかなか保育園になじめず、5月26日の観察日には給食も食べないで泣いてばかりだったB7児が、落ちついてきて保育園の生活に慣れ給食も全部食べ、日本語も覚えつつあることにホッとした。

[5] 1997年10月7日（火） 通訳付き面談

1歳児のG2児が9月末で他園へ転園した。父親が若くて仕事になじめず、社宅を出ることになったためである。

X保育園では、日本語が十分話せないブラジル人の親とのコミュニケーションをはかるために、本年10月から1か月に3回程度ポルトガル語の通訳ボランティア（Oさん）に来てもらっている。子どもの家庭での様子や園から親への連絡事項を把握する手掛かりとするために筆者も同席させてもらうことにした。今日は4歳児のA18児の父親と3歳児のK9児の母が面談した。

1) 欠席が続いているA18児の父親との面談が行われ、親の職が見つからないことと、欠席しているのは親が家にいるので保育園へ行かせてはいけないと解釈しているためということがわかった。父はサンパウロ州の出身でブラジルでは電気技師をしていたということだった。

2) K9児の母親との面談では、夫が職場でやけどをし、皮膚移植をしたりして大変だったことや弟が9月に生まれたことなど家族のことが話題になった。

[6] 1997年10月17日(金) 通訳付き面談

面談に入る前に、園長にブラジル人の子の保育について尋ねた。

筆者 子どもが入所してきて最初の頃、言葉がわからない時はまずどうされますか。トイレの時はどうされていますか。

園長 子どもは抱いてヨシヨシをします。トイレの時も様子でわかります。ポルトガル語の泣かないでという言葉を教えてもらって抱いたり、おんぶしたりします。今日の面談は、F3児(2歳児)の母、R16児(5歳児)とN10児(3歳児)の母、K9児(3歳児)の母の従兄弟(入園の問い合わせ)の3名であった。

1) F3児の母親との面談では、明日運動会なのでその細かいことについて通訳ボランティアのOさんを通じてF3児のお母さんに伝え、F3児のお母さんにポルトガル語で書いてもらった(Oさんは通訳のみのため)。それを今日欠席のブラジル人のお母さんに渡す予定である。

2) R16児とN10児の母親との面談……年長児の兄の卒園後の進路、日本語や日本食について……

まずR16児の担任からR16児について園での様子をお母さんに話した。即ち、今は運動会に向けて竹馬などの練習をしている、給食は全部食べて好きなおかずやパンはお代わりをする、日本人のA君と仲がよいなど。

担任 R16君のことで心配なことはないですか。

母 ないです。

担任 保母(保育士)に何かしてもらいたいことがありますか。

母 子どもは(園の)全部の先生が好きです。「だいすき」と言っています。

担任 卒園後のことについて、ポルトガル語学校へ行くのですか?(地域の)小学校へ行くなら、小学校で身体検査があります。

母 身体検査のことは知っています。(地域の)小学校へ行くつもりです。

次に(N10児について)N10児の担任と面談。

担任 以前はN10児は、「ほいくえんはいや」と言っていましたか、今はどうですか。

母 今は大丈夫です。

担任 N10児も日本語が上手になりました。保母(保育

士)や友達だとN10児も日本語で話します。

母 テレビが日本語で言っていると日本語で説明してくれます。

担任 保育園での生活は、ほとんど自分でできます。日本のみそ汁やおだんごも好きです。

母 「とうふ、ギョーザ、かぼちゃ。」(も好きということ日本語で)

担任 ウンチは給食のあと毎日します。(以下略)

3) 入所を希望する子ども(R児)の母親との面談が行われた。

コメント:年長児については、卒園後の進路についても把握している必要がある。卒園後の進路としては、①ブラジルへ帰国する。②T市のポルトガル語の学校へ行く。③地域の小学校へ入学する。の方法がある。R15児は面談する前はポルトガル語の学校へ行くというように園はとらえていたが、母親は(地域の)小学校へ入学させるつもりであることがわかった。R児は1998年1月19日に入所した(R20児)。

[7] 1997年10月18日(土) 観察……運動会……

リズム体操などが終わったところで、「ペンギンちゃんの山登り」という滑り台に登って滑りおけるプログラムで子どもが一人一人紹介され、R16児に喚声があがった。障害物競走で、障害児には靴型のポックリが使用された。障害物リレーでは、跳び箱、竹馬、鉄棒はそれぞれ子どもができるレベルでしてよく、跳び箱は3-5段でT17児は4段を、R16児は5段を跳んだ。鉄棒も高さが2段階、回り方は子どもができるやりかたでしてよく、各児の運動能力を伸ばすように配慮されていた。

[8] 1997年10月21日(火) 観察と通訳付き面談 観察……散歩と給食……

この日は3歳以上と2歳以下の子どもの2グループに分かれて散歩。年長のグループでは、5歳児が3歳児の手をつないだ。ブラジル人の子どもはブラジル人の子ども同士で手をつないでいる子が多かった。

2歳児クラスの給食時の様子について、この日の献立はひじきとえびのかき揚げ(ひじき、えび、ちくわ、さやいんげん、たまねぎ)、ごまあえ(にんじん、ほうれんそう、キャベツ、ごま)、ロールパン、パイナップル。M6児は野菜が嫌いで、青いんげんをかき揚げから出していた。B7児はおかずも全部食べた。R8児は、食が細くてあまり食べられない。

コメント:給食が食べられるB7児を見ていると、入

園後2か月近くになるのにおかずは何も食べられず泣いていたことと照らし合わせて、感無量である。

通訳付き面談

1) M1児(1歳児)の母との面談…子どもの家庭での様子や出産に伴う休みの間の保育…

担任 (M1児は) 保育園の給食は全部食べます。何でも食べます。

母 家でもよく食べます。

担任 家ではブラジル食ですか。

母 家ではブラジル食です。

担任 保育園ではみそやしょうゆ味の煮物も食べています。

母 家では米とフェジョンです。野菜も食べます。

担任 スプーンの使い方も上手です。家でも自分で食べていますか。

母 時々自分で食べますが、たいていは私が食べさせています。

(中略)

担任 M1児は今1歳6か月になり、ポツポツ言葉が出る時期なのに園では言葉がでていないのですが、家では何か話しますか。

母 家ではポルトガル語をよく話します。

担任 たとえばどんな言葉?

母 クッキーやお水をちょうだいと言います。ソックスやジュースを持って来てと言います。

担任 保育園では(いろいろなことを)わかっているようですが、言葉として出ないので。

母 家ではおとなしくしてなくて、兄弟をたたいたりしてケンカをします。従兄弟ともよくケンカします。

担任 「おりこうだね」というとニコッとします。(お母さんに)ポルトガル語とローマ字混じりの手紙を書いています(内容が)わかりますか。

母 わかります。

担任 M1児も従兄弟のT5児も28日は遠足なので、家から弁当を持たせてください

母 T5児が(給食を)食べているかどうか聞きたいです。T5児の様子も聞きたいです。

担任 T5児は最初はパンが中心でしたが、今はいろいろな食べ物が食べられます。今日も全部食べました。話せる日本語は少ないのですが、意思表示ができるようになり表情も明るくなりました。

母 家でも日本語を少しづつ話しています。

担任 (T5児は) 保育園に行くことをいやがっていませんか。

母 T5児は保育園が好きです。家にいるより保育園

の方が好きです。

担任 T5児は日本に長い間いる予定ですか。

母 (帰国は) 来年の予定だけまだわかりません。

担任 ブラジルの子は厚着ですが、T5児は薄着で今はまだ半袖です。F3児とM1児と二人で(ポルトガル語がわからないと思って)先生をからかったりします。(以下略)

コメント: M1児が家ではブラジル食を食べていること、お母さんが出産で仕事をやめること、その間M1児を保育園に預けられるかどうかのやりとりがあった。M1児は(言葉が出る年齢であるが)言葉が出ないので担任が心配していたが、家ではポルトガル語を話していると聞き安心した。担任が書くポルトガル語とローマ字混じりの苦心の手紙も内容が伝わっていた。

2) K12児とT14児(2人とも4歳児)の保育ママとの面談……ケガの連絡……

(保育園に送迎が出来ない父母は近所に住む保育ママに送迎を頼んでいる。)

担任 T14児が今日ケガをしました。転んで顔を打ち、歯(乳歯)がグラグラになりました。お母さんにそう言ってください。

保育ママ 大丈夫(わかりました)。

担任 T14児は給食のおかずを(スプーン)3さじとパンは全部食べています。

保育ママ 大丈夫(はい)。K12児は食べていますか。

担任 K12児は食べています。

(以下略)

1997年11月25日(火) ……園の様子……

園長の話: 現在、園では水ぼうそうや風邪がはやっています。2歳児は今日は一人も来ていません。T17児(5歳児)が12月にブラジルへ帰国する予定です。小学3年生の姉が日本の小学校になじまず、一人だけ帰すのはかわいそうなのでT17児も帰国します。お父さんとお母さんは、日本に残ります。

コメント: 日本の小学校になじまず帰国するブラジル人の子ども。父母は日本に残るので親子の分離の問題が生ずる。

1997年12月8日(月) S19児が入所した。今週1週間は慣らし保育。

S19児(男) ブラジル人。4歳児。家では(バターライスでなく)白いごはんを食べている。

[9] 1997年12月11日(木) 観察と通訳付き面談

観察……4歳児クラスのクリスマス会の練習の様子……「ねことあほうどり」というミュージカルを練習。絵

本をもとにして担任が作詞・作曲をしたもの。

コメント：絵本から題材を取り、歌を創作しせりふも子どもがみんな出番があるように配慮するなど楽しいクリスマス会の催しの準備も大変であるが、保育士の力量が発揮できる場でもある。

通訳付き面談……T17児（5歳児）の帰国について……

T17児のお母さんに保育園から「園に来てください。」と電話で依頼し、面談となった。電話はお母さんが日本語をほとんど話せないで、通訳のOさんにかけてもらった。

園長 T17ちゃんは今月の30日に（ブラジルへ）帰るそうですが、お母さんも一緒に帰りますか。

母 一緒に帰ります。私は、ブラジルに2月までいて、また日本へ戻ります。

園長 T17ちゃんは日本語上手だから。

母 上手ね。お母さんぜんぜんね（以上日本語で）。

園長 お父さん、お母さんはずっとこの団地に住みますか。

母 はい。

担任 卒業文集を作るので、お父さんやお母さんからT17ちゃんのことでいいし、保育園のことでいいから書いてください（例を見せる）。

母 書いて夫に預けておき、夫が持ってくるようになります。いつごろまでに？

担任 年が明けてすぐ欲しいです。T17ちゃんはブラジルのどの小学校へ入るのか決まっていますか。

母 DEPRO DE SOUZA 小学校です。

園長 ブラジルの住所は？

担任 聞いています。お母さんはブラジルでは看護婦さんでしたか。

母 銀行で働いていました。

担任 T17ちゃんは大きくなったら、看護婦さんになりたいと言っています。T17ちゃんが生まれた時の感想を書いてもらったこともありましたね。

母 T17を見てとてもうれしかった。そしてとても幸せだと思いました。

（以下略）

コメント：T17児は、（園長の話によると）4歳から保育園に入所し、半年位で日本語を話せるようになった。父母はあと2、3年は日本にいる予定である。担任の言葉にもT17児との別れを惜しむ気持ちがあった。1998年2月3日（火）……欠席が続いている子どもへ電話……

この日は通訳付き面談の日の予定であったが、A18児（4歳児）の欠席が続いているので通訳のOさんからお

父さんに電話をしてもらった。先週の木曜日（1月29日）A18児が暑いので自分で服を脱いでいたところへ、お父さんが通りかかり「服を脱がせないで欲しい。」と言われたといういきさつがある。

通訳 今、園に来ていないそうですが何かあったのですか。

父 服を脱がせないように言っておいたのに服を脱がせていました。今は風邪をひいていますから行かせられません。風邪がなおれば行かせます。

コメント：ブラジルとの気候の違いで、父母には日本の寒さに対する心配がある。薄着の習慣を理解してもらうことにも父母への配慮が必要である。

……保育料について……

園長の話：保育料は前年度の所得に応じて決まるが、F3児の母は、今年出産で会社を休み所得が少なくて保育料が負担になっているので、明日、通訳のOさんが付き添って区役所へ保育料の相談に行くことになっている。1998年2月19日 懇談会（担任が作成した懇談会用の資料を資料2に示した。）

コメント：担任の苦心の作である。

[10] 1998年2月27日（金）通訳付き面談

M1児（1歳児）の母との面談……妹が生まれたこと……

担任 家では日本語を話しますか。

母 あまり話しません。

担任 今日牛乳を「ちょうだい」と（日本語で）言いました。妹のKちゃんにはおっぱいを飲ませていますか。

母 はい。

担任 Kちゃんが生まれてからM1君がやきもちをやくことはないですか。

母 やきもちをやくことはないです。お乳を飲ませなくなったら働きたいです。

（以下略）

園長の話：M1児は線の細い子でしたが、1年間の間に大きく変わりました。オシッコは自立したし、食べるものもよく食べるようになりました。10月25日に妹のKちゃんが生まれました。（昨年12月入園した4歳児の）S19児はすっかりみんなの中にとけこんでいます。（同じく4歳児の）K15児は父や母の姿を見るとよく泣きます。

コメント：妹が生まれて、担任はM1児が妹にやきもちをやかないか気にかけている。入園して間もないS19児がうまく適応している一方、K15児は親から離れられない様子である。

[11] 1998年4月6日(月) 観察……入園式……

全園児数69名でその内ブラジル人が21名、朝鮮人が1名。新入園児21名の内ブラジル人が10名。

歓迎の歌やあいさつに続いて、送り迎え、保育料その他の集金、行事予定、食事とおやつ、園で病気やケガになった時の連絡先、父母の会などについて園長からお話があった。

[12] 1998年4月24日(金) 観察と通訳付き面談

本年度の外国人の新入園児(全員がブラジル人)の様子は以下のものである。

0、1歳児クラス

A21 (女) 7か月児。母は日本語が話せないが、日本語が話せる友人を連れて迎えに来る。1998年10月末転居のため退所した。

R22 (男) 6か月児で日本式の離乳食を食べさせている。K9児の弟。母が日本語を少し覚えつつある。

T23 (男) 1歳児。母が片言の日本語を話し、ブラジル料理店を経営している。人見知りをして他の人が来ると泣く。食事は家でもあまり食べない。

K24 (女) 1歳児。祖母が迎えにくる。祖母は日本語が話せる。母は日本語を少し話す。彼女も園では泣いている。

2歳児クラス

P25 (男) 2日間園に来てやめてしまった。母子家庭で母親の勤務の時間が保育園の時間と合わなかった。

F26 (男) 今日母が面談。

E27 (女) M29児、R30児と兄弟で一緒に入園した。父母は日本語が話せる。子どもは3名共日本語を話せないが給食は食べられる。

他に在園児のM1児がいる。

3歳児クラス

G28 (男) 他の園から転園した。父は少し日本語を話す。

M29 (女) E27児の姉。

他にF3児、M6児、B7児、R8児の在園児がいる。B7児は1998年9月で転居のため退所した。

4歳児クラス

新入園児はなく、K9児とN10児が在園している。

5歳児クラス

R30 (女) E27児、M29児の姉。

他にK12児、T14児、K15児、A18児、S19児がいる。A18児は8月7日から来なくなったので、家を見

に行ったら、転居していた。K12児とT14児も1998年11月10日で退所した。K12児は母がずっと失業していた。T14児は帰国した。

観察……給食時の様子を中心に……

最初、2歳児が園庭で遊んでいる様子を観察した。F26児とE27児は滑り台でみんなと一緒に遊んでいる。3歳児のG28児は一人で砂場で遊んでいる。彼女はおとなしい性格のようである。次に給食時の様子を観察した。今日の献立は、白身魚のあんかけ(メカジキ、たまねぎ、にんじん、干しいたけ、グリーンピース)、パン、りんご、お茶。

0、1歳児クラス

R22児はおかゆの離乳食を食べている。T23児はもう泣かない。K24児は、まだよく泣くということであった。

2歳児クラス

F26児はおかずを食べないが、E27児は何でも食べ、園にも慣れてきている様子である。

3歳児クラス

新入園児のM29児は、はしで食べている。彼女は日本語も少し話せる。G28児はたいていのものは食べるが、野菜や牛乳は好きでない。以前からいるF3児とR20児がポルトガル語で話している。R20児もはしで食べている。

5歳児クラス

R30児もはしで食べている。

コメント：新入園児も入園後3週間で、園の生活に慣れてきている様子であった。

通訳付き面談

F26児(2歳児)の母との面談……給食が心配……
母 給食が心配です。(F26児は)じゃがいもとマカロニが好きです。

担任(今はまだ)おかずは3さじ食べればいほうです。パンは食べます。

コメント：母親は、給食が食べられるか心配している。同じ2歳児の新入園児でもE27児は給食が食べられるが、F26児はおかずが食べられない。

[13] 1998年6月9日(火) 観察……給食の様子……

今日の献立は、コーンクリームシチュー、ゆで卵、パン、すいか、お茶。

0、1歳児クラス

A21児は9か月になり、伝い歩きをしている。ドロドロ食を食べている。R22児は8か月でかゆ食。1歳児のT23児、K24児も慣れてきた。

2歳児クラス

E27児は給食を食べ終え、袋を集めて遊んでいる。彼女はパジャマのうえに保育士の手作りのエプロンをしている。M1児もニコニコしている。

3歳児クラス

給食が食べられない子はいないようで、みんなよく食べている。R20児は食べ終わり、折り紙遊びをしている。

5歳児クラス

新入園児のR30児は、日本語はわからないが給食はよく食べる。昨年12月入園したS19児も給食を食べるが、在園児のT14児やK15児が給食をあまり食べられない。T14児はいつもはまだおかずはスプーン3杯だけ食べるのであるが今日は全部食べた。

コメント：早くから園に入っているT14児やK15児が給食を食べられない。

[14] 1998年7月21日(火) 観察と通訳付き面談

3歳児クラス

G31 (男) 7月6日に入所した。(他園から転園)。ブラジル人。パンは食べるが、おかずを食べない。家ではミルクを哺乳瓶で飲んでいる。12月1日に転園した。

観察……0、1歳児クラスと2歳児クラス……

今日の献立は、揚げじゃがいもの野菜あんかけ(牛肉、ピーマン、にんじん、たまねぎ、しょうが)、パン、ヨーグルト、お茶。

1歳児のT23児は、箱の中に入って元気に遊んでいる。K24児は、歯がたくさんはえてきている。二人とも給食では困らない。

担任の話：ブラジルでは離乳食も母親によりまちまちのようです。

2歳児のM1児は食事が終わって、ブロックで遊んでいる。他の子どもが箱をベッドにして遊んでいて、M1児も箱に入りたいがなかなか代わってもらえない。

通訳付き面談……新しく入所したG31児の父との面談が行われ、仕事が思うように見つからないことなどが話された。

コメント：日本語のできる日系人は解雇されないが、日本語のできない日系人は解雇されやすい。

[15] 1998年8月25日(火) 観察と通訳付き面談

観察……プールと給食の様子……

今日は天気がよいのでみんなプールで遊んでいた。給食の献立は、混ぜご飯(ツナ、にんじん、しいたけ、グリーンピース)、すまし汁(とうがん、半べん)、なし、お茶。

2歳児クラス

E27児もよく泳げる。給食は全部食べた。

3歳児クラス

B7児 ご飯が残っているが、少しづつ食べている。

R20児 給食はさじで全部食べた。「きょうへいくんは4さい。」「みさきちゃんはやすみ。」など日本語で筆者に話しかける。

G28児 給食はさじで全部食べた。すまし汁は保育士が食べさせている。

G31児 ご飯は全部食べた。

通訳付き面談……K12児(5歳児)の母が夫の仕事が思うようにいかず、保育料について相談したので、保育料が今よりも安くならないか通訳を通じて区役所に電話した。

コメント：会社を解雇されたという日系人の話が多い。園では、会社を解雇されて保育料の支払いが困難になった父母の保育料の相談にも応じている。K12児の母はブラジルでは学校の先生をしていた。K12児は結局、11月10日で保育園を退所し、やがてブラジルへ帰国した。

3歳児クラス

F32 (男) 1998年10月に入所したが、1週間来ただけで退所した。保育料が高かったのでやめた。

[16] 1998年10月30日(金) 通訳付き面談……新入園児の母……

来週からT33児が入所することになっているので、今日はそのための面談である。T33児はF3児の弟である。(前略 送迎の打ち合わせ、入園に伴う持ち物の説明など)

母 F3児は今ポルトガル語を習っています。

園長 家ではブラジル食ですか。

母 はい。

園長 おかずが食べられなかったら、パンを多くします。

母子手帳を見せてください。家では紙オムツですか。

母 紙オムツです。

(以下略 慣らし保育の説明等があった。)

コメント：F3児の母は日本語がうまくなり、片言で話せるようになった。

園長の話：子どもの移動について、B7児は10月からやめました。A18児は家にもいなくて転居したと思われるので退所ということになりました。

1歳児クラス

T33 (男) ブラジル人。F3児の弟。1998年11月2日入所。

[17] 1998年11月20日(金) 観察と通訳付き面談

観察……保育室での観察……

1 歳児クラス

T33児（1歳）はヨチヨチ歩けるようになった。朝、お父さんと別れる時は泣いていた。給食は同じ献立できざみ方を細かくしている。ミルクは8か月以降用のミルクを使用している。

2 歳児クラス

F26児は、お店屋さんごっこをしている。いろいろな食べ物のおもちゃが置いてあり、ハンバーガー、ポテト、プリン、シュークリームなどや果物の名前は日本語で話している。「いらっしゃいませ」、「おかねください」などの日本語も言える。M1児も「いらっしゃいませ」、「せんせい」などの日本語を話す。

4 歳児、5 歳児クラス

午後、園庭の砂場でN10児（4歳児）、S19児（5歳児）、K15児（5歳児）が遊んでいる。3名共みんなと一緒に遊んでいる。大きい穴を掘って、中に水を入れて遊んでいる。

<園長の話より>

0歳児のA21児は転居したので10月末で退所した。1歳児クラスのT23児は日本食が好きで、家でもブラジル食を食べない。E27児（2歳児）、M29児（3歳児）、R30児（5歳児）の3姉妹は、3人共問題はなく、3人の間では、M29児が一番日本語が話せる。R20児はF3児やM29児とよく遊ぶ。日本語が上手になり、3人で日本語とポルトガル語をうまく使い分けている。G31児は他の園へ転園する予定。

通訳付き面談 N10児（4歳児）の父……保育園での様子……

担任 クリスマス会であかずきんちゃんをやることになり、何の役をやりたいかと聞いたら、主役になりたいと言いました。保母（保育士）のそばに来て、「せんせい、せんせい」と言います。甘えん坊です。4月頃はいじけたりしていましたが、最近は自分の気持ちを伝えることができるようになりました。生活面では、給食は食べられますがゆっくり食べるので、1時間位かかります。

父 家でもそうです。

担任 食べている途中でウンチと言うことがあるので、食べる前にウンチに行こうねと言っています。

父 あまり食べたくない時にウンチと言うこともあります。

担任 最初は言い訳かとも思いましたが、本当にウンチをしていました。遊びの面ではK9児ちゃんが好きです。ブラジルの子と一緒にだと安心するのでしょうか。

おうちで気になることはありますか。

父 何もありません。保育園に来たいという気持ちがあり、土曜日や日曜日でも行きたいと言います。

担任 お母さんの仕事が無くなったそうですね。

（中略）

担任 小学校にあこがれているようです。「おにいちゃん、しょうがっこうだよ。」と言います。

父 子どもは風邪をひきやすいので、クツ下をはかせてもいいですか。

担任 はかせてもいいです。クツ下をはくとすべるので、バレーシューズをはかせてください。

コメント：N10児の母は今日失業した。N10児は後に母が就職して転居したので、1999年4月末で退所した。お父さんは日本語で、「ここは寒い。（ブラジルと寒さが）ぜんぜん違う。」と言い、ブラジルとは異なった寒い冬を迎えることに心配な様子であった。

[18] 1998年12月15日 観察……クリスマス会の最終練習日……

3歳児クラスは、「3匹の子ぶた」を演ずる。保育士手作りの豚のデンチがかわいらしい。4歳児クラスは「あかずきん」を演ずる。みんな台詞がしっかり言える。5歳児クラスは、合奏と「さるかに合戦」の出し物である。このクラスには、2人の障害児（ダウン症）がいて鈴、木琴を演奏した。

コメント：クリスマス会に演ずる劇や音楽の練習をとおして、障害児や日系ブラジル人も含めたそれぞれの子どもの能力が伸ばされていくのを感じた。R20児は1月22日で退所してブラジルへ帰国した。

[19] 1999年3月30日（火）通訳付き面談……新入園児のための面接の最終日……

4月から新しく入所する予定のF39児の面接で、父親が来た。F39児は3歳児クラスに入る予定。あらかじめ手渡されている入園後1週間の予定表についての質疑から始まった。

（前略 保育料の支払い、持ち物についての説明、予防注射のチェック、送迎の確認等）

父 祭日（祭日の説明をする）は、園はありますか。

園長 祭日は休みです。会社はありますか。

父 祭日、会社はいつもの通りです。

園長 F39ちゃんに会いたいです。（F39児に会う）

園長 顔の筋肉の様子が少しおかしいと思うので一度お医者さんに連れて行ったらどうでしょうか。笑顔に表情がないと思います。お産の時何か異常はありませんでし

たか。

父 ブラジルで生まれたが何も異常はありませんでした。

コメント：保育園は祭日は休みであるが、日系人が働いている会社は祭日でも営業している所が多い。F39児の表情が乏しいことが気にかかった。3歳児クラスのR8児（北朝鮮籍）は、将来朝鮮人学校へ入学するため3月末で退所した。5歳児クラスのK15児、S19児、R30児は近くの公立の小学校へ入学した。

[20] 1999年4月5日（月） 観察……入園式（通訳も出席）……

4月5日現在の園児数は65名で、その内外国人は23名（ブラジル人19名、ボリビア人2名、ペルー人1名、中国人1名）である。

0、1歳児クラス 9名の内、外国人は5名。

K34（女）ブラジル人。1歳11か月。給食を食べず4月末退所した。

A35（女）ペルー人。1歳5か月。

N36（男）ブラジル人。1歳2か月。1999年9月末で退所した。

他にR22児とT33児の在園児がいる。

2歳児クラス 10名の内、外国人は5名。

R37（女）ブラジル人。

T38（男）ボリビア人。父は日系人で、父母共に日本語が上手。

他にT23児とK24児の在園児がいる。

3歳児クラス 16名の内、外国人は6名。

F39（女）ブラジル人。3月30日に面接をした。

K40（女）ブラジル人。K34児の姉で4月末K34児と共に退所した。

H41（女）ブラジル人。7月27日にブラジルへ帰国した。

S42（女）ブラジル人。母が日系人で日本語が話せる。

他にM11児とE27児の在園児がいる。

4歳児クラス 16名の内、外国人は4名。

T43（男）ボリビア人。T38児の兄。

他にF3児、G28児、M29児の在園児がいる。

5歳児クラス 14名の内、外国人は3名。

S44（男）中国人。他の園から転園してきた。日本語は上手に話せる。

他にK9児とN10児の在園児がいる。

コメント：今年は、新しくペルー人、ボリビア人、中国人の子どもが入所して国籍も豊かになったが、それだ

け運営もむずかしい面が予想される。幸いT38児とT43児の父母やS44児は日本語が話せるので助かっている。1999年5月10日（月） T45児とM46児の姉弟が入所。

2歳児クラス

T45（男）ブラジル人。母は日本語が話せる。

3歳児クラス

M46（女）ブラジル人。T45児の姉。

[21] 1999年5月11日（火） 観察……入園式1か月後のクラスの様子……

0、1歳児クラス

N36児は、寝転んで哺乳瓶でミルクを飲んでいて。K34児は4月30日で退所した。K34児は離乳食を食べなかったが、姉のK40児と一緒にいる時は食べたので精神的なことで食べられなかったと思われる（園長の話より）。

2歳児クラス

割合順調にクラスの運営はいつている。K24児やR37児は給食を食べるが、T23児やT38児は野菜が嫌いである。T45児はまだ2日目で泣いている。

3歳児クラス

遊戯室でリズム体操をしていた。3歳児クラスは、K40児が4月30日で退所し、M45児が入所した。F39児は「おはよう」、「さようなら」等の日本語を覚えた。H41児は動き回るので保育士も大変である。

4歳児クラス

T43児は活発な子で園の生活を楽しんでいる。

5歳児クラス

新入園児ではS44児がいるが、彼は日本語を話すことができるので、クラスの運営は比較的順調にいつている。

コメント：面接の時に、顔の表情が乏しくて心配されたF39児は日本語も覚えつつあり、他の子どもとも関わりをもつこともでき、園長たちをホッとさせている。H41児は少しもじっとしていないので担任も大変である。

[22] 1999年5月21日（金） 通訳付き面談……新入園児のための面接……

5月24日（月）から入所する子どものための面談で、1歳児のR47児の母と3歳児のR48児の母が出席した。まず、1週間の慣らし保育の説明、送迎の打ち合わせ、保育料の支払いの説明が2人の母になされた。

園長（家では）食べ物はブラジルの食べ物を食べていますか。

R48児の母 ほとんどブラジルの食事ですが、日本食も食べられます。

R47児の母 両方食べます。

園長 ブラジルの子で、家でブラジルの食事を食べなくなった子がいます。ブラジルへ帰る予定はわかっていますか。

母(2人) わかりません。

園長 病気のことで、今園では水ぼうそうがはやっています。うつる病気にかかったら、園は休ませてください。もし、園でケガをしたら治療費のために保険があるので入ってもらいたいです。保険料は1年間で240円です。

母(2人) いいです。

(以下略 持ち物をシートで説明し、予防接種のチェックをした)

コメント：入園式後退所したり、新しく入所したりする子どものことで忙しい。日本に働きに来ている日系人の子の場合、入所するのも4月とは限らず園が受け入れれば、月の途中でも入所する場合がある。その都度、手続きや持ち物などの説明が必要である。

[23] 1999年6月22日(火) 観察と通訳付き面談

観察……遊戯室にて3、4、5歳児のリズム体操と午後の自由保育……

内向きギャロップ、外向きギャロップ、走ってスツップし片足あげ、座って前進、手をつないで横にギャロップ、円を大きく小さく等のリズム体操を3歳児、4歳児、5歳児の順に行っていた。F39児は、保育士が手助けしているが大体みんなと一緒にできる。H41児はみんなの輪に入らない。T43児は先頭に行く活発な子である。保育士のリズムのとりがたがうまい。午後の自由保育の時間、5歳児クラスでは男子はブロック遊びをしていて、S44児も一緒に遊んでいる。女子は折り紙、お絵描き、ままごと等をしている。4歳児クラスでは、G28児はおっとりしている子で、T43児は元気な子である。M29児は日本語をよく話す。

通訳付き面談……プールの開始が近づいているので、検便を実施しているが、未提出者が多い。M1児(3歳児)も検便が提出されていないので、連絡をしたら兄が来たので母親に連絡してもらおうようにした。彼は、6年生でT市のブラジル人の学校へ通っている。

コメント：日系人の場合お迎えを兄弟がすることもある。

1999年7月13日(火) ……H41児について……

この日はH41児の母との通訳付き面談があり、H41児の園での保育の様子(みんなと遊ばないなど)について母親に連絡し、地域療育センターへ8月11日にH41児と母親と園長と通訳のOさんと一緒に行くことになった。

しかし、H41児は、7月22日に母と姉(小2)と一緒に3人でブラジルへ帰国したので園も退所した。父親は日本に残っているということである。

コメント：発達面で心配なH41児について、本児と母親が地域療育センターへ行くように手はずを整えていたところ、急に帰国した。しかしこの家族も父親と別れて暮らすことになる。

[24] 1999年8月3日(火) 観察と通訳付き面談

観察……プール、給食……

今日は午前中全員がプールで水遊びや水泳を楽しんだ。5歳児クラスの泳ぎが得意な子どもには大きいプールでも、狭すぎる感じがする。F39児が一人で水着に着替えながら、筆者に何か話しかけてきたが、早口でポルトガル語のためか聞き取れなかった。

今日の給食の献立は、ひじきとじゃがいもの煮つけ(ひじき、じゃがいも、にんじん、豚肉、さやいんげん)、ヨーグルト、パン、マーガリン、お茶。0、1歳児クラスには一人だけ0歳児(10か月)がいるが、1歳児と同じ給食を食べていた。

2歳児クラスでは、T38児は今も野菜が食べられない。じゃがいもは食べた。T38児よりも遅く入所したT45児は何でも食べられる。

3歳児クラスでは、早くから在園しているM1児はおとなしい子で、給食を全部食べた。E27児も給食を全部食べた。

4歳児クラスのF3児、G28児、T43児は、給食を食べるのが比較的ゆっくりであったので、担任に尋ねたところ、F3児とG28児は少々遅いが給食は全部食べるが、T43児は減らすことが多いということであった。

5歳児クラスは年少児や年中児とやや様子が異なり、みんな一生懸命に給食を食べていた。K9児とS44児の二人はクラスによく溶けこんでいた。

コメント：障害児のM児とT児の卒園後の進路について園長に尋ねたところ、在園中は互いにいたわり合っていたT児とM児であったが、今は別のコースを歩んでいることがわかった。心配していたF39児はうまくやっっていけそうである。7月9日(金)夏祭りが催され、夜店や子どもによる日本の踊りやサンバの披露があった。

通訳付き面談……入所して間もない子どもの母親との面談……

R48児(3歳児)のお母さんとの面談。R48児には、複雑な家庭の事情がある。今日はお母さんに、保育料の支払いについての連絡のあと、彼女とのやり取りから次の子を妊娠して仕事を7月20日でやめたことなどが話さ

れた。

担任 保育園ではR48君は日本語を少し覚えました。

母 家でも日本語を話しますが、私が理解できません。

担任 給食も食べ、オシッコやウンチも一人です。

入園して最初の頃は泣いていましたが、今はM I 児と仲良しでよく一緒に遊んでいます。「せんせい、せんせい」と言って、一生懸命身振り手振りで説明します。

筆者 赤ちゃんのお父さんはブラジル人ですか。

母 ブラジル人です。

担任 R48君は新しいお父さんと仲がいいですか。

母 仲がいいです。

担任 保育園ではいやなことがあっても表に出せなくてもがまんするので、赤ちゃんが生まれたり、新しいお父さんが来られると心配です。

母 赤ちゃんが生まれたら、きっとやきもちをやくでしょう。

筆者 R48君はどんな日本語が話せますか。

担任 「せんせい」、「だめ」、「(遊びに) 入れて」、友達の名前などを言います。

園長の話：保育料が変わるので家庭の事情は正確に把握しておく必要があります。

コメント：家庭に事情のある子どもの例である。

1999年9月1日(水) S49児とS50児の兄妹が入所した。

2歳児クラス

S49 (女) ブラジル人。父は日系人で母はブラジル人。富山から転居してきた。

3歳児クラス

S50 (男) ブラジル人。S49児の兄。しばらくの間、注意が必要である。

[25] 1999年9月21日(火) 観察と通訳付き面談

観察……2、3歳児クラスの観察……

3歳児クラス……給食の前の自由時間……

M1児、M46児、R48児の3名が電話ごっこをして遊んでいる。(日本語で)「ママとでんわ」などと言って、日本語とポルトガル語を混ぜて遊んでいる。R48児は日本人の子どもとプロレスごっこをしているので、日本人の子どもとも仲良く遊べるようである。「最初はグー」という遊びがはやっている。今月入所したS50児は一人で遊んでいた。

2歳児クラス……給食時の様子……

今日の献立はメカジキのフライ、磯あえ(卵、青菜、にんじん、キャベツ、のり、花鰹)、ロールパン、パイ(缶詰め)、お茶。T45児、S49児は全部食べた。R3

7児も全部食べてしまい、昼寝の準備をしている。K24児は食べることが遅いが、ほとんど食べてしまう。T38児は野菜が嫌いで自分では食べないので、保育士が食べさせている。

園長の話：S50児は「おはようございます」、「ありがとうございます」、「すみません」などの日本語を話します。いつもおなかをすかしています。K24児はお父さんがブラジルへ帰っています。明日入所する予定のペルー人の子がいます。N36児は9月末で退所します。お母さんの仕事が見つからないので、N36児とお母さんはブラジルへ帰国しますが、お父さんは日本に残ります。

コメント：K24児もN36児も父親と家族がブラジルと日本で遠く離れて暮らす。S50児について、彼はとてもおなかがすいていて、給食まで待てない様子である。園長の話をしている時、S50児の熱が39度2分あるという担任の報告があり、父母の勤務先に担任が連絡したが、連絡がつかなかった。S50児の熱はしばらくすると、40度7分まで上がった。後で叔父に連絡がつき叔父が迎えに来た。

通訳付き面談……S49児の保育ママとの面談……

S49児の保育ママはRさんといい、片言の日本語を話す。

園長 RさんはS49児と下の赤ちゃんの二人の世話をしているのですか。

保育ママ はい。

園長 S49児が病気の時もS49児の面倒をみるのですか。

保育ママ 面倒をみます。

担任 オシッコがトイレのできるので、ママ(お母さん)にトイレでオシッコをするように言ってください。

園長 S49児は夕食は誰と食べるのですか。

保育ママ S49児は私の家で夕食を食べます。赤ちゃんにもミルクをやっています。

園長 園で毎日必要なパンツ、パジャマ、タオル、よだれかけ、着替えの服等がまだ出されていないのでお母さんに伝えてください(絵を見せて説明)。S50児と一緒に食べないのですか。

保育ママ S50児はお父さんが7時半から8時頃家に帰ります。

コメント：S49児とS50児は7か月の乳児と3兄妹である。S49児と乳児は保育ママが食事の面倒も見ているが、S50児の食事の世話がどうなっているか心配である。

1999年9月22日(水) A51児が入所。

5歳児クラス

A51 (女) ペルー人。父母共にペルー人で来日して9年になる。A51児は日本で育っているため日本

語が話せる。

[26] 1998年9月28日(火) 観察と通訳付き面談

観察……誕生会と午後の園庭……

午前中は9月生まれの子どもの誕生会が催され、F保育士が手品をやって見せていた。

午後、園庭では子どもがお風呂屋さんごっこ、鉄棒、フラフープ、なわとび、竹馬、砂遊び等をして遊んでいた。K9児、F3児、G28児は日本人の子どもと一緒に最初お風呂屋さんごっこをしていた。鉄棒では、子どもがそれぞれ前回り、足抜き回り、さか上がりや豚の丸焼き(豚の格好をしてぶらさがる)をしている。S44児も鉄棒をして、「ぼくだってうしろからもできるよ。」などと筆者にも上手な日本語で話かけてきた。T43児は「ぼくもできるよ。」と日本語で言いながら、棒登りをやって筆者に見せる。S44児も「これできる。ねえみとって。」と、同じように棒登りをやって見せる。S44児も日本人のA児(女子)も鉄棒が得意である。

通訳付き面談……娘からパパと呼ばれない父の気持ち……

今日は5月に入所した1歳児クラスのR47児の父との面談である。

父 (R47児は)朝は哺乳瓶でチョコレート入りのミルク200cc入りを3杯飲みます。私はパンとチョコレート入り牛乳です。

担任 保育園では最初は(給食を)食べませんでした、今は食べます。

父 夕食はほとんど(自分では)食べないので、食べさせます。

担任 トイレも自立できるようになりました。基本的には時間で連れて行きますが、「しっしっ」と言って教えます。

父 家では上手にしません。

園長 ブラジルへ帰る予定は?

父 多分2、3年したら。

筆者 お父さんのことはパパって言いますか?

父 パパと呼んでくれないので寂しいです。(私のことも)ママの名前で呼びます。

(中略)

担任 (R47児は)保育園のことはどう思っている?

父 とても喜んでいます。

園長 パパと言わなくてもR47児とパパはうまくいっている?

父 R47児を愛しています。さようなら。

コメント:ブラジルでは牛乳にチョコレートを入れて飲む習慣がある。ブラジル人の子どもは牛乳だけで飲む

ことに抵抗を示し、保育士の方は甘い牛乳にこだわりを示す。

[27] 1999年10月5日(火) 観察と通訳付き面談

観察……給食時の様子……

0、1歳児クラス

今日の献立は、煮魚(さば)、ひじきの白和え(豆腐、ひじき、ほうれんそう、にんじん、しいたけ)、パンとジャム、お茶。R46児は乳歯がたくさんはえている。一番年齢の低いR22児も1歳になった。彼は魚が好きである。みんなスプーンで食べている。みんな食欲旺盛で早く食べ終え、T44児は魚のお代わりを要求している。担任が「もっとゆっくり食べなさい。」と注意している。うれしい悲鳴である。

担任の話:R47児は牛乳だけを飲むことに抵抗を示しますが、結局は飲みます。A35児は間もなく2歳になりますが、まだ母乳を飲んでいるそうです。彼女はなかなかスプーンでは食べなくて、手で食べさせると食べます。日本人の子が1つのことを「ウン」(ポルトガル語で1のこと)と言ったり、「チャオ」と言って帰ることもあります。

3歳児クラス

S50児は少しづつ日本語を覚えている。「せんせい」、「おちゃ」などが言える。担任がS50児と1:1で「ほうれんそう」、「にんじん」、「ちょうだい」など給食の食品と一緒に食べながら食べ物の名前等をポルトガル語と対比させて教えている。彼は白和えはほとんど残している。給食を残したのは初めてだそうである。F39児は「えんぴつあるよ」、「ごちそうさま」などが言える。他の子どもが名前を「F」と愛称で呼ぶと、「Fちゃん」とちゃんづけで呼ぶように訂正する。

言葉が少ないと言われているM46児へ話しかけてみる。筆者「おいしいですか」M46児「(うなずく)」、筆者「魚は好き?」M46児「(うなずく)」、筆者「お隣りの子の名前は?」M46児「R」筆者「R48君ですか」、M46児は別の子を指し、「あっちゃん、これあっちゃん」という。

コメント:最初心配していたF39児は発達については心配ないようである。M46児はやはり言葉が少なかった。担任の話では「ポルトガル語も日本語もボツボツですね。」ということであった。S50児は表情が険しいのが気になった。

園長の話:気になっている子に日本人ですが虐待が心配される子どもがいます。

園長の話の聞いている時、S50児が事務室へ入って来

た。S50児は今日の給食はおかずを食べなかったので、まだおなかがすいていたと思われる。

通訳付き面談……S50児とS49児の母との面談……

家庭での子どもの様子が心配なS50児のお母さんに来てもらい、面談をすることになった。

S50児の担任 S50児はすごく元気。活発です。お家でも元気？友達とは言葉がわからないのでまだ遊びません。けど少しずつ日本語を覚えています。先生達に甘えてきます。ばなな組だけ部屋にはあまり居なくて、行きたい所へ行きます。

母 (S50児の話はしないで) 仕事が見つからない時は、下の子を保育園に入れることはできないですか。

園長 仕事を捜す期間は3か月です。下の子をみてくれる人が見つからないのですか。

母 (今まで頼んでいた保育ママの) Rさんは断りました。下の子の保育をしてくれる人を捜したいです。夫一人の給料では生活がむずかしいです。

園長 下の子について、来年の4月からの申し込みはできます。

S49児の担任 S49児は熱を出したりでお休みが多いです。S49児は戻したりしたことがあるので、りんごやなし等の日本の果物は食べませんが、おかずは大体食べます。菓子も食べます。よく気をつく子で給食やおやつを用意を保育(保育士)がしていると、わかって手伝ってくれます。遊びはおもちゃを友達と一緒に使うことがわからないので、独り占めをしたがります。元気な時は保育園に来てください。

園長 (子どもが) 3人で大変だと思いますが、S50児のことをお母さんは怒ったりしませんか。

母 叫んで怒ります。言えばおとなしく聞きます。

園長 S50児は朝おなかがすいているようですが、朝何か食べて来ますか。

母 牛乳だけです。

園長 牛乳はどれ位？ブラジルの子はみんな牛乳だけど、(S50児は) すごくおなかがすいている様子。

母 (家では) おなかがすいた時は黙って冷蔵庫を開けたりします。

園長 その時はどうするの？(S50児は) やせています。

母 みんなが寝ているうちに冷蔵庫を開けます。時間を決めて食べさせていますが、本当によくおなかがすいています。

園長 食べさせている割にはやせています。S50児には、たくさん給食をあげたいことをわかって欲しいです。

母 S49児は少しは太っています。家では、S49児とS50児には同じようにやっていますが、どうしてだか

わかりません。

園長 S50児は日本の食べ物は何でも食べます。

(後略 朝の保育時間について)

コメント：園長はS50児がやせていることや、園で給食をたくさん食べることから、家で食べさせていないのではないかと思い、家での食事について聞き出したかった。お母さんは3人の子どもの面倒をみることと、夫が病気のため生活のことが心配で気がいらだっている様子であった。S50児が家でも冷蔵庫を黙って開けていることが話されたが、おそらくおなかがすいていたためと思われる。S50児は母親になついているが、S49児はなついている。

1999年10月19日(火) K52児が入所。

3歳児クラス

K52 (女) ブラジル人。父母共に日系人。日本語が話せる祖母が送り迎えをしている。

X保育園の園長と保育士へのインタビュー……外国人の子どもの保育について……

1) 園長へのインタビュー 1999年9月28日(火)

筆者 経験も積まれた現在のお気持ちについてお聞かせください。

園長 外国人の子を受け入れるようになってから、職員の心が広くなりました。たとえば以前でしたら、朝ご飯を食べさせて欲しいという願望がありましたが、“ブラジルでは朝ご飯を食べない”という習慣がある(ことを知りました)。ブラジルの気候は一日の温度差がはげしいので、(その習慣の延長で)登園する時の服装が季節の服装とずれていたりします。また話しても話の背景がわかるようになりました。通訳のネットワークも広がりました。ブラジルの子を見ていると、踊りが浸透しているという感じを受けます。F3児は地域の夏祭りでも踊ったし、将来が楽しみです。

筆者 印象に残った子は誰ですか。

園長 なじんでこなくて、途中で辞めた子が心残りです。

筆者 ありがとうございます。

2) F保育士(4歳児の担任)へのインタビュー 1999年9月21日(火)

筆者 外国人の子どもを受け持ってよかったと思われることはどんなことですか。

保育士 たとえば、障害児に対する見方も自然な見方ができるようになったことです。言葉が通じないという点では障害児も(外国人の子も)同じです。

3) A保育士(0、1歳児クラスの担任)と園長、F保育士へのインタビュー

筆者 外国人の子を保育されていて印象に残った子はどのような子ですか。

保育士 問題を抱えていた子が印象に残っています。

園長 他のクラスに行ってポルトガル語を話していても、そのまま続けさせます。

保育士 (保育士が) 少しポルトガル語ができると、向こうの人も親近感をもちます。

筆者 ありがとうございます。

II 考察

1) 外国人の子どもの受け入れに伴う問題

X保育園における外国人の子どもの入所・退所を図1に示した。外国人の子どもと日本人の子どもを保育する場合の大きな違いの一つに外国人の子どもの場合、年度の途中でも入所・退所する子どもが多いということがわかる。これは、労働のために来日している日系人の子どもの特徴であり、親の労働問題と関わっている。入所の時期は月初めとは限らず、来日し入所のための手続きが済み次第、入所する。園としては、そのたび毎に入所の説明や慣らし保育をすることになる。退所の理由は、帰国や転居が多いが、親の労働問題と関連しており、最近では雇用状況も悪く親が職を次々に変わったり、職が見つからず帰国した例があった。中には母親と子どもが帰国し、父親は日本に残るという父と母子が別々に暮らすことになる例があった。子どもが保育園児の場合には、保育園の生活に適応できないで退所した場合でも、母親や保育ママが子どもの面倒をみることになるが、子どもの年齢が学齢期に達している場合には、(民間の)ポルトガル語の学校へ行くこともあるが、やむをえず帰国することもある。

子どもが保育所に入所する際には、給食を食べられるかどうか心配する母親が多い。X保育園の給食は、自治体の保育園に共通の統一献立で提供され、筆者は給食の献立にも注意しているが、混ぜご飯や関東煮など日本食のよさを取り入れた献立が多い。バターを多く使ったブラジル食に慣れた年齢で来日し保育園へ入所した場合、給食に割合早くなじむ子どもと、なかなかおかずが食べられない子どもがある。X保育園では、無理に強制することを避け、弁当を持参することを認めたり、少量でもおかずを食べられたらよいという方針をとっている。また、年少の頃から保育園の給食に慣れると、逆に家でブラジル食を食べられない例もある。

2歳になっても母乳を飲んでいたり子どもや哺乳瓶で甘い牛乳を飲んでいたり子どもがいるが、母乳をやめる時期がブラジルでは3歳頃という寺西らの報告⁷⁾もあるので、

受け入れた子どもの国の育児の仕方に関する情報があると子どもを理解するのに役立つ。

言葉については、面談の時の様子や園長の話からわかるように、日系ブラジル人の場合、家庭ではポルトガル語を話し、父親か母親のいずれかが片言の日本語を話す例が多い。親としては、子どもに日本語とポルトガル語の両方の能力をつけて欲しいと願っている(資料3)が、実際にはポルトガル語の習得は、親が教えたり個別に習いに行くことになる。

新しく保育園に入所した外国人の子どもは、友達同士の遊びや、保育士との会話から少しずつ日本語を覚えるが、筆者の経験では保育士は1対1で給食を食べながら日本語を教えるなど給食の時間を上手に利用していた。

次に服装のことであるが、ブラジル人の場合日本との気候の違いから親が寒さを非常に気にするようである。この保育園では、冬にソックスを履くことも認めている(滑り止めのため上靴を履かせる)。

個々の子どもについては、踊りも得意で気配りもよくきくF3児や、鉄棒などの運動が得意なR16児やS44児がいる一方、2歳の時に来日し入所後もなかなか園に適應できなかったB7児の例があったが、入所しておよそ半年後には落ちついて泣くこともなく給食も全部食べられるようになった。彼の場合はケガのため休んだのでよけいに時間がかかった。外国人の子どもで言葉の発達が遅い場合、M1児の例でもみられるように、日本語を話すことは遅くてもポルトガル語を話していたりする場合もあるから、発達のチェックも親との連絡がうまくいっていないとむずかしい。

今、保育士達はいつもおなかをすかしている子ども(S50児)のことを心配している。他に家庭環境が複雑な子どもや、両親あるいは父親が労働のために日本に残り、子どもだけあるいは子どもと母親が帰国した例がある。

外国人の子どもに限ったことではないが、保育園で観察を続けていると保育中に子どもが熱を出したりすることがある。園では、その都度親に連絡し迎えに来てもらっているが、病児保育の受け入れ態勢があると親も安心できる。

2) 外国人の子どもを受け入れるについてのX保育園の方針

X保育園は、最近の数年間常時約20名の外国人の子どもを受け入れており、中でもブラジル人の子どもが一番多い。園では入園式、夏祭り、運動会、クリスマス会などの行事(資料4)にブラジルの歌やサンバや太鼓を取

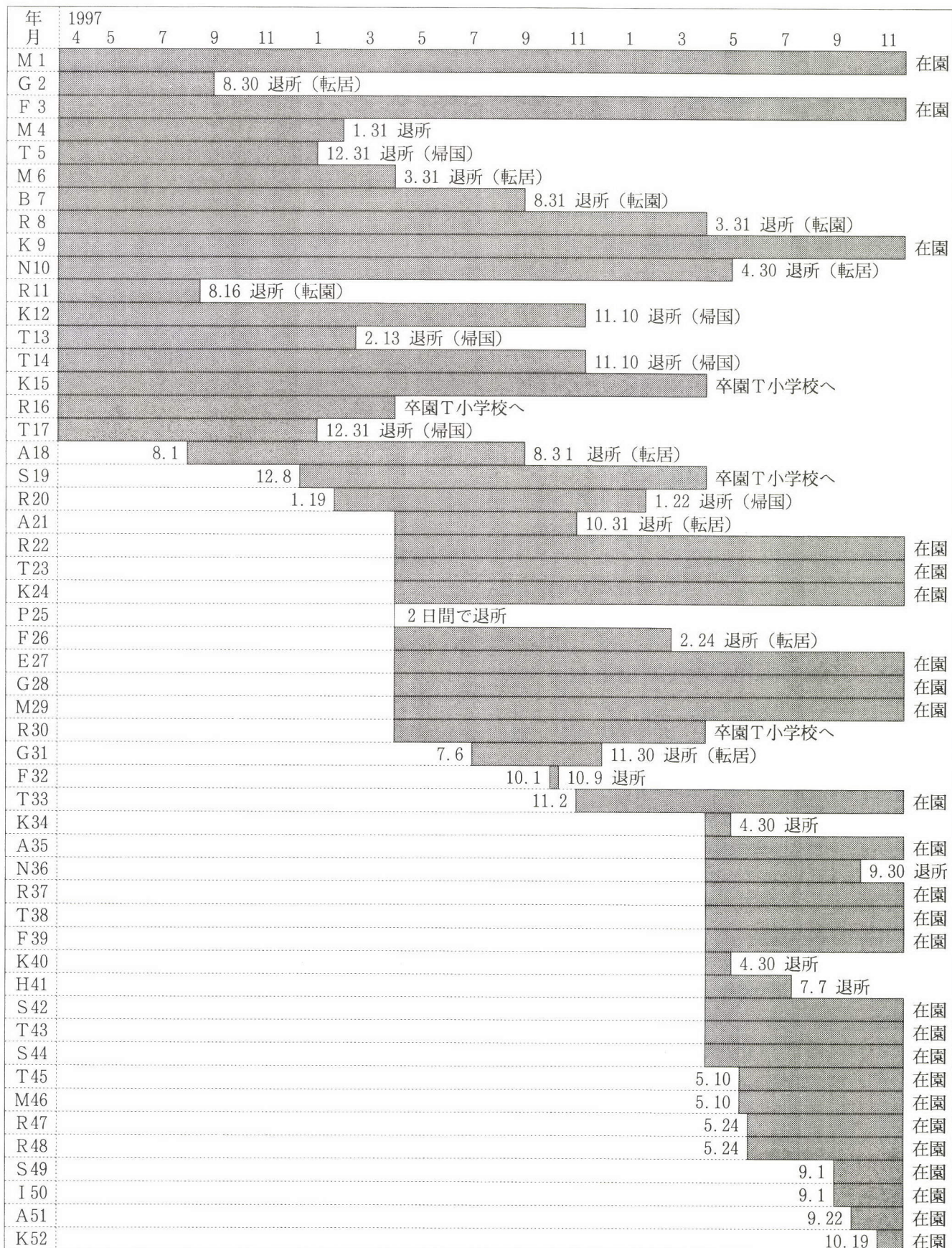


図1 X保育園における外国人の子どもの入所・退所
(M1児-T17児の内M1、G2、T5、B7、K9は1997年度の新入園児)

り入れたり（写真）、保育士も子どもや親とのコミュニケーションに役立つようにポルトガル語を学んだりしている。

以前、我々が聞き取り調査を行った際に親からの疑問として出されたピアスをつけて登園することも受け入れているし、紙オムツの使用もこの保育園では認めている。また、給食のおかずが食べられない子どもには前述のように無理強いしないで少しでも食べられたらよいとし、弁当の持参も認めている。また保育時間の間に子どもが隣のクラスへ遊びに行ってもよいとしている。そしてこのことは、ブラジル人の子同士が遊ぶ機会を多くし、ポルトガル語の保持にも役立っている面がある。

3) 外国人の子どもの母語や母国の文化の保持について

X保育園における言語の問題は、(かつて園に在籍したザイルや朝鮮籍の子どもの親や、現在在園しているボリビアや中国籍の子どもの親は日本語を話すことができるので)ポルトガル語である。X保育園では、園長はじめ各クラスの担任がポルトガル語の習得にも積極的に取り組んでいて、子どもに日本語を教える場合にも、日本語とポルトガル語を同時に言いながら日本語の単語を教えたりしている。またX保育園がある自治体では、外国人の子どもの多い園に国際センターから通訳ボランティアを派遣している。X保育園の場合は、月3回位で1回につき約2時間であるが、主として親が園長や担任と面談する際の通訳であり、子どもとは直接関わらないので、子どもの母語の保持や、来日して間もない頃の子どもの心の負担を考えると、ポルトガル語を習得している保育者の援助が望まれる。来日するブラジル人の多くは将来帰国するので、子どもの母国語の保持は大切である。

個別にポルトガル語を学ぶ場合には、家庭で親が教える他に、園の近くに今年から民間のポルトガル語学校が開校したので、X保育園に通いながら、週2日間このポルトガル語学校へ通っている子どももいる。母国の文化の保持については、X保育園では、夏祭りに子どもがサンバを踊ったり、ブラジル人の子どもの太鼓をたたくなど様々の行事を通して文化の交流に積極的に取り組んでいる。そしてこの姿勢は、ブラジル人の保護者からも支持されている。さらにこれからは、ブラジルの絵本も保育に取り入れたいと願っている。

4) 保護者との連絡

X保育園における保育者からブラジル人の親への連絡のための文章は、自治体が発行しているポルトガル語の入園時の案内やガイドブック等を参考にしたり、ポルト

ガル語と日本語ができる子どもの親に翻訳を頼んだり、以前に園に勤務していた語学対応嘱託員が作成した例文を参考にしたりしながら、ポルトガル語の行事の案内や園だより、懇談会の案内等を作成している。

また月に3回程行われているポルトガル語の通訳を交えての親との面談では、送迎の時刻の打ち合わせ、子どもの園での生活の様子や家庭での様子、親の就業状況、将来のこと、園への希望や疑問など様々なことが話され、子どもの背景を知るのに大変役立っている。

5) 外国人の子どもの受け持った保育士の感想から

保育士へのインタビューから、どの保育士も外国人の子どもの受け持ったことにより、心が広がったことを挙げていた。また園になじめなくてやめていった子どものことを心配していて、親の心境にも似た気持ちに通じるものがあると思った。

6) 外国人の子どもの受け入れている保育所に対する自治体のサポート

X保育園がある自治体では、入所時の申請書や日常会話集などを5か国語で用意している。また外国人の子どもの多数受け入れている園には通訳ボランティアを派遣している。しかし、通訳ボランティアは前述のように親と保育士との間の通訳を受け持っており、子どもの保育には携わらない。愛知県ではT市が、ポルトガル語のできる通訳をブラジル人の子どもの多い2園に週2回または週1回、1日7時間派遣している。この場合には、通訳は担任の補助的な仕事もしている。できれば保育または教育を習得した通訳が子供たちと関われる体制が望まれる。

まとめ

筆者が観察を続けているX保育園では、1997年4月から1999年11月までの間に延べ52名、常時約20名の外国人の子どもの受け入れており、定員が90名であることを考えるとその割合は、非常に高い。そして、その大多数が日系ブラジル人の子どもである。

外国人の子どもの入所・退所の時期は年度の始めとは限らず、しばしば月の途中にも入所したりする。そのような場合、子どもにとっても大きな負担になるし、保育者の方でも対応に追われる。さらにこれらの子どもの多くは、将来帰国する予定であるので母国語や、母国の文化の保持についての配慮が望まれる。現在、園へは親との通訳のために、ポルトガル語の通訳ボランティアが派遣されているが、子どもとも関われる通訳の派遣が望ま

れる。

X保育園では、外国人の子どもを受け入れるにあたり、保育士もポルトガル語を習得し子どもや親とのコミュニケーションに役立てている。また服装、ソックス、ピアス、オムツなどについても、できるだけ子どもの国の習慣を受け入れるようにしている。また、夏祭りや餅つきなどの行事を通して、文化の交流にも心掛けている。

最後に本稿をまとめるにあたり、いろいろお世話になりましたX保育園の皆様に心からお礼申し上げます。

文献

- 1) 山本理絵・神田直子・中川美子「国際化社会にふさわしい保育のあり方と課題—愛知県内の保育所における外国人児童の親、及び保育者等からの聞き取り調査より—」『愛知県立大学児童教育学科論集』第31号、pp. 101-112.1997.
- 2) 在日外国人教育問題研究会 9月例会 小野政美配付資料より
- 3) 大場幸夫・民秋 言・中田カヨ子・久富陽子「外国人の子どもの保育」萌文書林、1998.
- 4) 安富利光・阿部真美子・池田政子「地域の中の国際児：田富町立S保育園の4年間を事例として—多文化教育・保育の研究(3)—」『山梨県立女子短大紀要』第28号、pp. 85-119. 1995.
- 5) 稲葉 穂「外国人の子どもを保育して」『保育問題研究』140号、pp. 6-11. 1993.
- 6) 藤野登志子「てさぐりからはじめ……そして」『保育問題研究』140号、pp. 12-17. 1993.
- 7) 寺西和子・マルシア小笠原恵「日系外国人乳幼児の文化獲得過程に関する実証的研究—保母と母親の意識の分析を通して—」『愛知教育大学研究報告第45輯』pp. 21-29. 1996.
- 8) 森 節子ら「外国人の子どもの保育を考える」『平成10年度 中堅IV・統合保育研修報告書』pp. 28-40.

国籍別 都道府県別	総登録 人員	韓国・ 朝鮮	中国	ブラジル	フィン ピ ン	米 国	ペルー	タ イ	インド ネシア	英 国	ヴィエ トナム	その他
計	1,512,116	638,828	272,230	222,217	105,308	42,774	41,317	23,562	14,962	14,762	13,505	122,651
北海道	14,019	6,025	2,754	392	1,019	825	36	92	188	212	33	2,443
青森県	3,431	1,394	656	143	485	268	5	35	61	26	115	243
岩手県	3,708	1,123	1,208	187	546	200	14	23	46	47	44	270
宮城県	11,103	4,249	3,324	695	705	434	87	86	159	112	41	1,211
秋田県	2,947	863	898	94	622	152	3	45	21	36	4	209
山形県	4,626	1,377	1,430	618	549	142	32	60	47	37	77	257
福島県	8,990	2,139	2,307	1,449	1,595	296	180	155	79	86	63	641
茨城県	33,519	5,582	5,074	8,933	3,229	594	1,557	3,258	814	235	239	4,004
栃木県	24,006	3,021	3,472	8,094	1,883	366	3,162	972	187	113	265	2,471
群馬県	31,724	3,086	2,813	13,138	3,893	326	3,416	642	309	104	687	3,310
埼玉県	69,996	16,484	17,337	11,532	7,742	1,406	3,104	1,574	1,002	657	1,295	7,863
千葉県	64,942	16,265	14,657	6,929	9,243	1,706	2,893	3,096	718	752	471	8,212
東京都	262,613	92,984	77,513	4,648	19,208	15,298	1,966	3,969	1,853	6,246	1,286	37,642
神奈川県	110,036	32,338	22,541	13,155	8,972	4,339	6,522	2,860	973	1,456	2,523	14,357
新潟県	10,584	2,600	2,436	1,464	1,629	310	172	270	434	107	64	1,098
富山県	8,147	1,761	1,318	3,278	867	158	35	55	63	46	15	511
石川県	7,228	2,763	1,209	1,767	316	229	66	43	176	79	22	558
福井県	10,163	4,508	1,544	2,269	739	123	160	120	146	41	199	314
山梨県	11,230	2,093	1,848	3,740	1,191	202	840	305	122	84	63	742
長野県	32,640	4,545	56,304	14,670	3,026	464	650	1,322	1,012	121	46	1,480
岐阜県	29,250	7,914	4,874	11,202	2,092	298	779	81	164	67	798	981
静岡県	56,732	6,965	4,024	31,329	4,817	692	3,800	727	743	213	644	2,778
愛知県	124,919	49,264	12,967	40,873	7,283	1,762	4,218	658	861	471	342	6,220
三重県	27,716	7,588	1,698	12,903	1,125	221	1,601	310	380	63	340	1,487
滋賀県	20,626	7,511	1,179	8,322	621	257	1,489	55	232	63	66	831
京都府	55,040	42,606	5,796	867	1,151	1,080	273	181	328	343	59	2,356
大阪府	207,367	163,067	24,782	5,147	3,159	1,803	1,143	909	742	683	783	5,149
兵庫県	98,705	66,869	13,970	4,316	1,829	2,205	836	402	559	646	2,161	4,912
奈良県	10,599	6,234	1,547	1,038	368	327	244	122	106	98	31	484
和歌山県	6,165	3,938	666	312	414	177	29	206	106	37	21	259
鳥取県	3,316	1,621	709	176	401	72	6	48	39	25	3	216
島根県	4,141	1,214	1,249	590	640	74	11	18	51	28	29	237
岡山県	14,865	8,133	2,396	1,729	1,017	313	158	90	187	93	9	740
広島県	27,719	14,066	4,208	3,968	2,189	788	459	145	354	227	145	1,170
山口県	14,965	11,402	1,325	304	821	342	47	34	78	40	97	475
徳島県	2,968	466	1,293	144	446	86	29	19	136	43	16	290
香川県	5,278	1,155	1,557	674	847	117	327	28	105	33	28	407
愛媛県	5,056	1,749	1,676	198	584	158	58	47	119	50	35	382
高知県	2,644	830	761	34	405	94		25	120	32	76	267
福岡県	36,601	22,994	6,967	283	2,280	1,001	275	179	271	362	58	1,931
佐賀県	2,988	1,083	939	34	380	103	11	39	91	39	9	260
長崎県	5,027	1,517	1,761	60	496	348	18	42	70	90	57	568
熊本県	5,142	1,244	1,585	78	1,074	309	27	40	93	115	30	547
大分県	4,916	2,469	950	98	580	123	75	37	192	55	10	327
宮崎県	2,760	808	535	54	441	191	22	36	239	49	42	343
鹿児島県	3,753	510	1,272	133	934	197	15	40	118	87	22	425
沖縄県	7,206	411	1,901	156	1,455	1,798	467	62	68	113	42	733

資料1 1998年末現在 都道府県別・国籍（出身地）別外国人登録者数²⁾

今年度は、担任として ☆☆☆☆ の4人なが、
 professor encarregado de uma classe

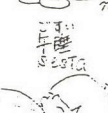
お返事しました。又、子どもたちも10名でスタートして現在10名です。
 reatido criança dez começo atualidade dez
 15名の子どもの入園し、5名が退園していきました。おともい 子どもの
 15名の子どもの入園し、5名が退園していきました。おともい 子どもの
 15名の子どもの入園し、5名が退園していきました。おともい 子どもの

排泄 排泄前や散歩に行く前などトイレに行く様に声をかけるか
 privação antes de esta passeio vamos à privada dizer
 自分で排泄した(ならば)トイレに行くことかできる。



排泄後の手洗いは自分でできな。⇒朝、夜に排便するときいあな?
 não lavar seu traçoirs com papel higiênico depois de fazer cocô
 排泄後の手洗いの習慣は自分でできない。
 não Lavaremo-nos OS mãos

子どもたちの様子 ① 下 ② 歯 ③ 指 ④ 爪 ⑤ 髪
 criança condicao ① 下 ② 歯 ③ 指 ④ 爪 ⑤ 髪
 ① 下 ② 歯 ③ 指 ④ 爪 ⑤ 髪



ほとんどの子が2時間くらいに、⇒夜、もう早く眠る
 duas hora dormir cedo e
 となでできるような生活リズムにはならないですか? →バナナに
 acordar cedo banana classe

まだ食べ終わっていません。スプーン・フォークから箸にしています。
 comer não acabar colher garfo pauzinhos
 まだ食べ終わっていません。スプーン・フォークから箸にしています。
 comer não acabar colher garfo pauzinhos

早くは20分で食べ終り遅い子は1時間以上も
 rapido vinte minute lento uma hora
 早くは20分で食べ終り遅い子は1時間以上も
 rapido vinte minute lento uma hora



自分で着脱する。自分でボタンがかりはかきとる。脱いだ衣服をたたんで
 muda de roupa abotoar dobrar
 自分で着脱する。自分でボタンがかりはかきとる。脱いだ衣服をたたんで
 muda de roupa abotoar dobrar

朝ごはんのみ物だけという子もいますがバナナ
 café de manhã so bebida banana
 朝ごはんのみ物だけという子もいますがバナナ
 café de manhã so bebida banana



で片付けるというよりは、自分で片付けるようにしたい。
 arrumar saber
 自分で片付けるというよりは、自分で片付けるようにしたい。
 arrumar saber

おななは、すきすきして、まわりのごほう?
 fome



自分で履く。自分で脱ぐ。
 自分で履く。自分で脱ぐ。

鼻かごでたら ティッシュでふいている。かむというこも
 ranho papel higiênico assoar-se
 鼻かごでたら ティッシュでふいている。かむというこも
 ranho papel higiênico assoar-se

歯みがきはしていないが、食後 お茶を飲むと歯が
 não pasta de dente tomar chá
 歯みがきはしていないが、食後 お茶を飲むと歯が
 não pasta de dente tomar chá



水遊び... 最初あまり積極的にはなかったが、最後は
 piscina
 水遊び... 最初あまり積極的にはなかったが、最後は
 piscina

うがいをすると、習慣になった。
 gargarejar costume
 うがいをすると、習慣になった。
 gargarejar costume



園庭では... コンビヤ、三輪車にのり、スベリ台、橋
 triciclo escorregador
 園庭では... コンビヤ、三輪車にのり、スベリ台、橋
 triciclo escorregador

冬は素足なので、くつは1つおきれいに洗って下さい。
 pés sapato lavar
 冬は素足なので、くつは1つおきれいに洗って下さい。
 pés sapato lavar



室内では... ひも通し、パズル、ブロック、絵本
 quebra-cabeça blocos livro
 室内では... ひも通し、パズル、ブロック、絵本
 quebra-cabeça blocos livro

食事の時は、口ふきタオル、口のまわりが汚れたらふく
 Toolha
 食事の時は、口ふきタオル、口のまわりが汚れたらふく
 Toolha



絵画... サインペン中心で、絵が描きやすい。
 pintar
 絵画... サインペン中心で、絵が描きやすい。
 pintar

おそび... 散歩... 友だちと手を繋いで並んで歩くことができた。
 jogos passeio amigo andar de mãos dadas com
 おそび... 散歩... 友だちと手を繋いで並んで歩くことができた。
 jogos passeio amigo andar de mãos dadas com



粘土... ばさみも使った。
 argila cola tesoura
 粘土... ばさみも使った。
 argila cola tesoura

砂遊び... どのくらいを合わせて手洗いが汚れると嫌がる
 piscina de areia
 砂遊び... どのくらいを合わせて手洗いが汚れると嫌がる
 piscina de areia



ブロック... リズムうたや集団遊びも十分ではないか
 brincar
 ブロック... リズムうたや集団遊びも十分ではないか
 brincar

おそび... スコップを使って遊ぶ。
 pá brincar
 おそび... スコップを使って遊ぶ。
 pá brincar



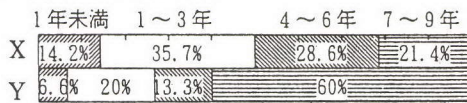
おそび... スコップを使って遊ぶ。
 pá brincar
 おそび... スコップを使って遊ぶ。
 pá brincar

資料2 懇親会のための資料

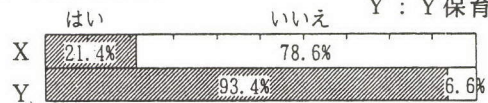
アンケートの内容と結果

Q 保育園 18家庭中14部回収 K 保育園 21家庭中15部回収

1. 在日年数は何年ですか



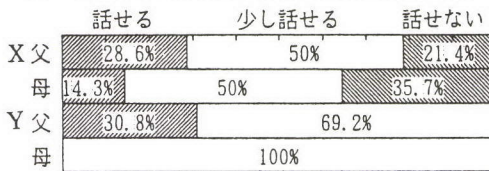
2. 永住しますか。



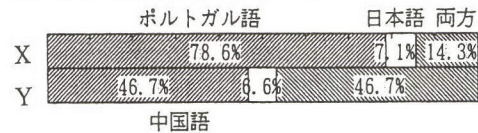
X : X 保育園
Y : Y 保育園

3. 言葉について

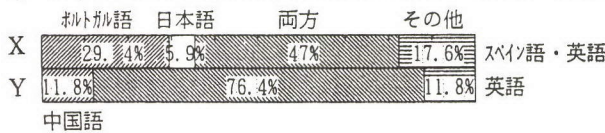
① お父さん、お母さんは日本語が話せますか。



② 家での日常会話は何語ですか。

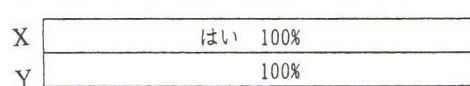


③ お父さんは何語が話せるようになってほしいですか。(複数回答あり)

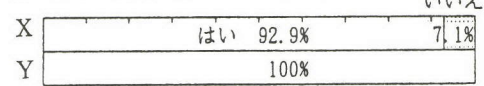


4. 文化について

① 日本の文化に興味・理解がありますか。



② 日本の文化に触れたいですか。



資料3 外国人の子どもの親に対するアンケート調査結果

年間行事予定

平成11年度

4月	1日(木) 進級式 5日(月) 入園式	10月	16日(土) 運動会 下旬 遠足
5月	下旬 春の遠足 中下旬 家庭訪問(見学) 下旬 保育参観・クラス懇談会(幼児)	11月	上旬 焼きいも大会 中下旬 個人懇談会
6月	16日(水) プラネタリウム見学(ぶどう組のみ)	12月	16日(木) クリスマス会
7月	9日(金) なつまつり 上旬 プールびらき	1月	12日(水) 餅つき大会
8月	下旬 プール大会	2月	3日(木) 節分 23日(水)又は24日(木) ほいくまつり(ぶどう組のみ)
9月	1日(水) 防災訓練 14日(火) 敬老会	3月	3日(金) ひなまつり 8日(水) おわかれ遠足 14日(火) おわかれ会 25日(土) 入学を祝う会

☆毎月誕生会を行います。☆アンダーラインのあるのは、公明保育園又は、それに近い行事です。

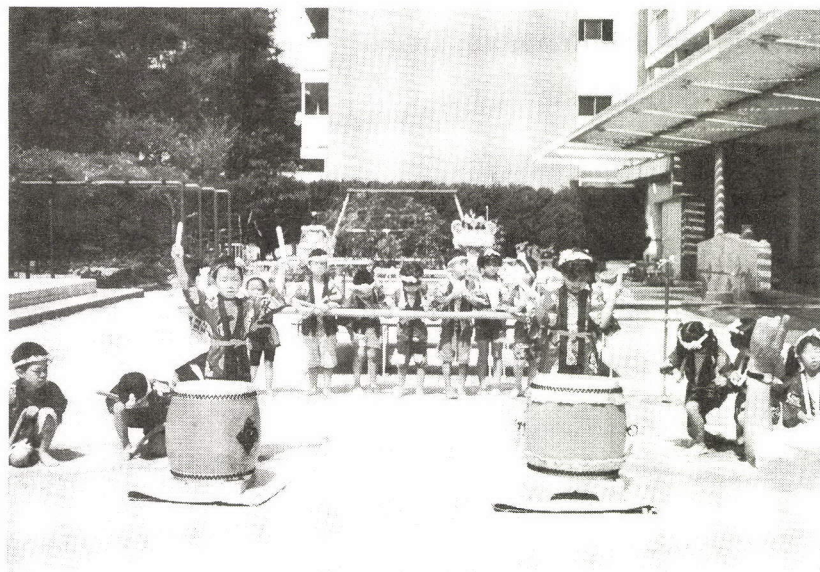
PLANO DE CERIMÔNIAS DO ANO LETIVO DE 1999

ABRIL	1(5a) CERIMÔNIA DO ANO LETIVO 6(3a) INÍCIO DO ANO LETIVO	OUTUBRO	16(SÁB) GINCANA ESPORTIVA 3º TERÇO - EXCURSÃO
MAIO	1º TERÇO EXCURSÃO DE PRIMAVERA 2º TERÇO VISITA AO LAR (0-1 ANOS) 3º TERÇO PARTICIPAÇÃO E DEBATE DAS MÃES NA CRECHE	NOVEMBRO	1º TERÇO FESTA DE BATATA DOCE ASSADO 2º TERÇO DEBATE PESSOAL
JUNHO	16(4a) VISITA AO PLANETÁRIO (SOMENTE BUDO-GUMI)	DEZEMBRO	16(5a) FESTA DE NATAL
JULHO	9(6a) FESTIVAL DE VERÃO 1º TERÇO INÍCIO DO USO DA PISCINA	JANEIRO	12(4a) FESTA DE MOCHI (BOLINHOS DE ARROZ GLUTINOSO)
AGOSTO	3º TERÇO GINCANA DE PISCINA	FEBREIRO	3(5a) SETSUBUN (FESTA COM GRÃOS DE SOJA TORRADA) 23(4a) OU 24(5a) FESTIVAL DA CRECHE (SOMENTE BUDO-GUMI)
SETEMBRO	1(4a) TREINAMENTO PARA PREVENÇÃO DE SINISTROS 14(3a) FESTA DO DIA DOS IDOSOS	MARÇO	3(6a) FESTA DAS MENINAS 8(4a) EXCURSÃO DE DESPEDIDA 14(3a) FESTA DE DESPEDIDA 25(SÁB) CERIMÔNIA DE ADMISSÃO DOS ALUNOS

日本語
ポルトガル語
資料4 X 保育園の年間行事予定表(日本語とポルトガル語)



クリスマス会



夏祭りの練習

資料4 X 保育園での生活

The Day Care for Foreign Infants

— A Case Study of X Day Nursery in Aichi Prefecture —

NAKAGAWA Yoshiko

The purpose of this paper is to research the day care of X Day Nursery. This day nursery receives many foreign young children, especially Japanese-Brazilians.

Their parents came to Japan to get jobs of factories, though, many of them couldn't speak Japanese well. And for those infants it was difficult to adapt to the life of day nursery, Japanese food and language. In this paper, it is described how those teachers of day nursery support foreign young children to adapt to the nursery life. The teachers are learning Portuguese to teach Japanese language for foreign children and to communicate with their parents, and they are planning to buy some picture books of Brazil.

In summer festival of this day nursery Japanese children and foreign children beat Japanese drum "Taiko" and danced samba together. And these events support to understand the culture of each country, Japan and Brazil.

An interpreter of Portuguese visits this day nursery three times for a month to support the teachers and parents, but she doesn't nurse children.

An interpreter who has learned nurture or child education would be required in order to support foreign children in this nursery.